

木炭に

in 反愛の丘
ハチ

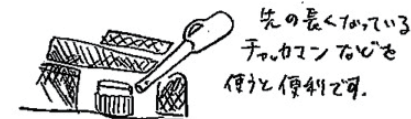
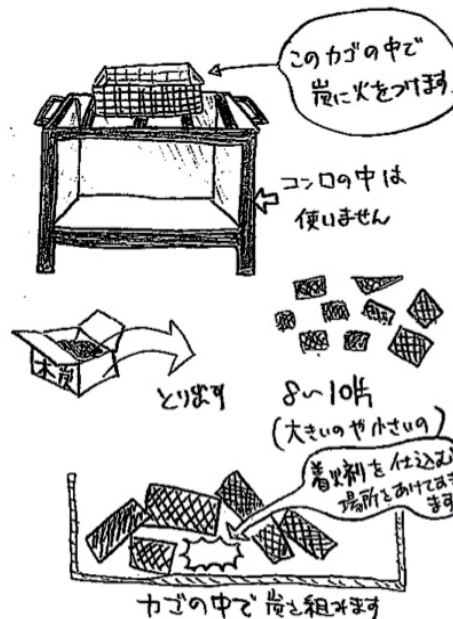


火をつける方法 ①

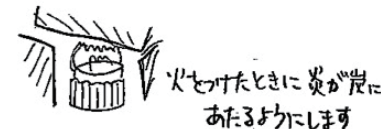
準備するもの



- ☆ 新聞紙は使いません
- ☆ 古い木炭、湿気の多い木炭は火が付きません
- ☆ 備長炭などの高級木炭には、なかなか火が付きません!
- ・ 着火剤のかわりに、使用済のわりばしなどが使えます。



火をつけます



- ・ 必ず軍手を着用してください
- ・ 火がついた後は、火バサミを使用し火傷しないよう注意してやります。

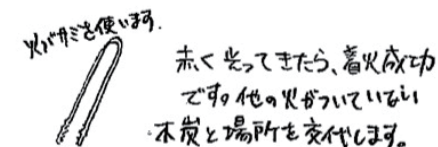
着火剤に火をつけられ、火がうまく木炭に当たっていることが確認できていますか? もしOKなら...

しばらくこのままで放置します!

☆ うちわであおいだりしない!

☆ うごかさない!

着火剤の炎で、少しずつ炭が赤く光ってきます!



これをくり返して、赤く光る木炭をいくつもつけていきます。

これも、着火剤が燃え尽きたら、続けてます。

最初に組んでいた木炭のほとんどが一部赤く光って、着火できたことを確認します。(一旦火がつくと、簡単には消えません)

このあたりで、ようやくうちわを使います



うちわのあおぎ方

木炭から煙があがってくるには、フワフワやさしくあおいでも変化がありません。1秒間に4回以上90°スローに10秒ほどあおきます。あまぐのを止めた瞬間、煙があがります。



・ このまゝで、約2分〜25分ほどかかります。



上手に火力調節して下さい。

うまくいかないときは、何かが間違っていることが多いです。スチールに早めに開きに来て下さい

